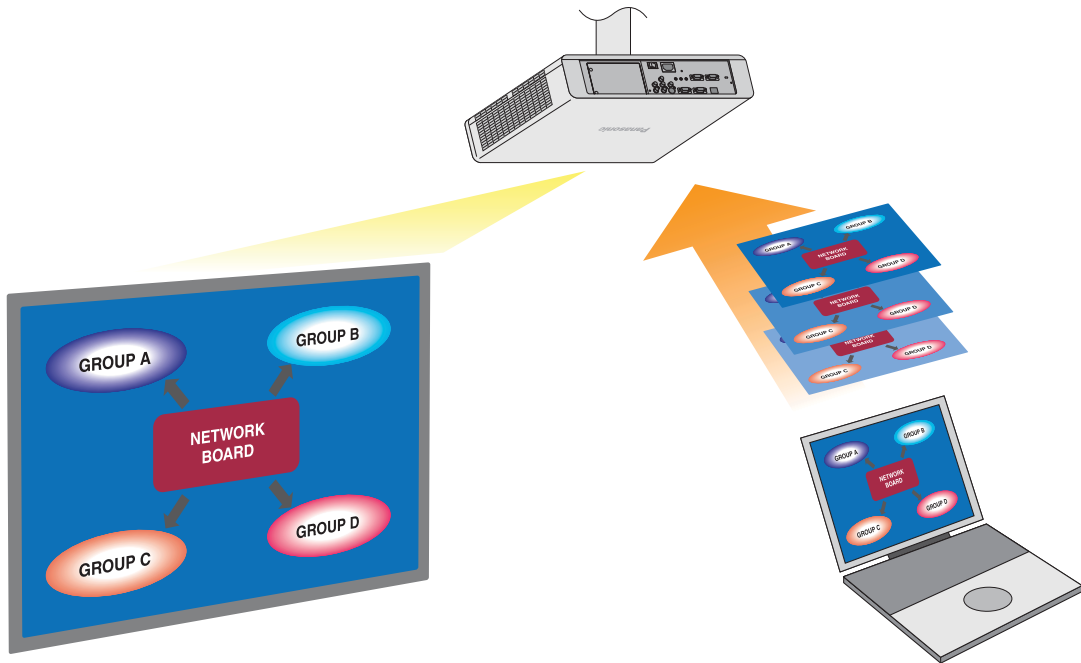


Macintosh

Panasonic®

ネットワーク機能編

(PT-F200NT/PT-FW100NT)



もくじ

ソフトウェア使用許諾書……………	3	こんなことができます……………	7
使用上のお願い……………	4	ご使用のコンピューターをご確認ください……………	8
セキュリティに関するお願い……………	6	接続に必要なコンピューター環境……………	8
ソフトウェアのインストール……………	9	付属の CD-ROM の内容……………	10
必要なシステム構成……………	9	Wireless Manager ME 4.5 ……………	10
無線 LAN で接続する……………	11	接続エラーメッセージ……………	14
ワイヤレス簡単接続……………	11	アクセスポイント経由で接続する……………	15
詳細設定……………	11		
有線 LAN で接続する……………	16		
接続方法の選び方……………	17		
接続のその他の操作……………	18	接続先の追加と削除……………	18
接続時にパスワードが必要なときの操作……………	18	接続先を ID で検索する……………	19
		接続を解除する……………	20
いろいろな投写方法……………	21	ライブモード……………	22
メニューの操作方法……………	21		
便利な機能……………	23	シャッター機能……………	23
オプションを設定する……………	24	キー設定……………	25
オプション画面の設定……………	24	その他……………	26
送信設定……………	24	バージョン情報……………	26
プロジェクターのネットワーク設定……………	27	無線設定……………	30
ネットワークメニューの表示……………	27	[USER1] ~ [USER3] の工場出荷設定……………	31
有線 LAN の設定……………	28	プロジェクター名を変更する……………	32
有線 LAN の工場出荷設定……………	28	パスワードの設定……………	32
ネットワーク番号を変更する……………	29	ネットワークスタンバイ……………	33
[USER] 設定……………	29	ライブモード割り込み……………	33
IP アドレス設定……………	29	設定状態の確認……………	34
		初期設定に戻す……………	34
WEB ブラウザで操作する……………	35	モニター情報画面……………	37
WEB ブラウザコントロールを行う前に……………	35	プロジェクターコントロール画面……………	38
WEB ブラウザからアクセスする……………	36	詳細設定画面……………	39
ソフトウェアのアンインストール……………	43	Wireless Manager ME 4.5 ……………	43
用語解説……………	44	困ったとき……………	46

ソフトウェア使用許諾書

本ソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことが、ご使用の条件になっております。

● 第1条 権利

お客様は、本ソフトウェア（CD-ROM、取扱説明書などに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできませんが、著作権もしくは知的財産権がお客様に移転するものではありません。

● 第2条 第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

● 第3条 コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。
ただし、本ソフトウェアを使ってコピーしたものは除きます。

● 第4条 使用コンピューター

本ソフトウェアは、お客様が所有または管理する複数台のコンピューターにおいて使用することができます。
ただし、本機の使用を伴う場合に限定されます。

● 第5条 解析、変更または改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。
お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。
また、解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店、販売代理店等は責任を負いません。

● 第6条 アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。
お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
なお、本ソフトウェア仕様は予告なく変更することがあります。

● 第7条 免責

本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。
本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店、販売代理店等はその責任を負いません。
なお、本機の使用を伴わない本ソフトウェアの動作保証は一切行いません。

● 第8条 輸出管理

お客様は、本ソフトウェアを購入した国以外の国に持ち出される場合、その国および関係する各国の輸出管理に関連する法規を遵守してください。

Wireless Manager は下記のソフトウェアを使用しております。

Portion of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group

以下のことをあらかじめご了承ください。

- プロジェクターの使用または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- プロジェクターによるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

使用上のお願い

プロジェクターの無線 LAN 接続機能使用時は、2.4 GHz 帯域の電波を使用します。無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

■ 他の無線機器の近くで使用しないでください。

下記の機器は、プロジェクターと同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くでプロジェクターを使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。

- 電子レンジなど
- 産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
- 特定小電力無線局

■ プロジェクターの近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

携帯電話・テレビ・ラジオなどは、プロジェクターと違う帯域の電波を使用しておりますので、無線 LAN の通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、プロジェクターからの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

■ 鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN 通信の電波を通しません。

木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

■ 静電気が多く発生するような場所でのプロジェクターの使用は、できるだけしないでください。

じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でプロジェクターを使用する場合、無線 LAN、または有線 LAN が切れやすくなります。

その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、無線 LAN、または有線 LAN を接続してください。まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。

このような場合は、リモコン、または本体操作部の電源ボタンで、プロジェクターの電源をいったん切ってください。

ファンクーリングが終了した後（本体の電源モニターが橙色から赤色に変わった後）に電源を入れ、再度 LAN 接続処理を行ってください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニックプロジェクターサポートセンター

☎ 0120-872601

■ 国外での取り扱いについて

プロジェクターは、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。また、無線 LAN を使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。

使用上のお願い (つづき)

■ 使用できるチャンネルについて

国または地域によって使用できるチャンネル（周波数範囲）が異なります。下記の表を参照してください。

国または地域	規格	使用チャンネル	周波数帯域 (中心周波数)
日本	ARIB STD-T66	1 - 13	2,412 MHz - 2,472 MHz
中国	SRRC		
イギリス、ドイツ、フランス、スペイン イタリア、ベルギー、オーストリア、 スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、 スイス、オランダ、フィンランド、ポルトガル、 ギリシャ、タイ、韓国	ETSI 300.328		
シンガポール	IDA		
オーストラリア、 ニュージーランド	C-Tick		
マレーシア	SIRIM		
アメリカ	FCC part 15		
台湾	DGT	1 - 11	2,412 MHz - 2,462 MHz

■ 有線 LAN について

LAN ケーブルはストレートまたは、クロスで、カテゴリ5以上対応のものをご使用ください。

※ 1：1000BASE-T をご使用になる場合は、カテゴリ 5e 以上のもをご使用ください。

※ 2：システム構成により、ストレート/クロスのいずれか、または両方使用可能かは異なります。詳細はネットワーク管理者にご相談ください。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害が想定されますので、セキュリティ対策を十分に行ってください。

●被害内容

- 本製品を経由した、お客様のプライバシー情報の漏洩
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

●セキュリティ対策

- ファイアウォールなどにより、安全性の確保されたネットワーク環境にてご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードは、できるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは、定期的に変更してください。
- 松下電器産業株式会社およびその関連会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。

■無線 LAN について

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどとアクセスポイント間で情報のやり取りを行います。電波の届く範囲内であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合に、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見る可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為を行う可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線 LAN 機器（無線 LAN カードやアクセスポイント）は、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 機器のセキュリティに関する設定を行って、本製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、「パナソニックプロジェクターサポートセンター」までお問い合わせください。

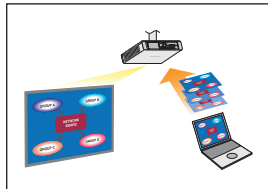
当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合に発生する危険性を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

こんなことができます

●ネットワーク送信

無線 LAN、または有線 LAN を通じてプロジェクターとコンピューターを接続し、静止画を送信できます。接続の方法については、11 ページを参照してください。

<ライブモード> (→ 22 ページ)



通常のプレゼンテーションで使用します。

<WEB ブラウザコントロール> (→ 35 ページ)

WEB ブラウザコントロールを使用して以下のような操作ができます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時の E メールメッセージ送信

<ワンクリック接続> (→ 26 ページ)

ダブルクリックやドラッグ&ドロップ操作でプロジェクターに接続できます。

<ライブモード割り込み機能> (→ 33 ページ)

ライブモード中に、他のコンピューターが割りこんでライブモードで投写することができます。

ご使用のコンピューターをご確認ください

接続に必要なコンピューター環境

- はじめに、お使いのコンピューターに有線 LAN、または無線 LAN*機能が装備されているかどうかご確認ください。
※ LAN：「用語解説」→ 44 ページ
- プロジェクターとコンピューターを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。
- すべての無線 LAN カードやコンピューターに内蔵されている無線 LAN アダプターでの動作を保証するものではありません。

■ 無線 LAN の場合

チェック 1 無線 LAN の設定

- 無線 LAN が有効になっていますか。

チェック 2 ログオンするユーザーの設定

- [管理者 (Admin)] の権限でログオンできますか。

チェック 3 コンピューターの設定

- セキュリティ (ファイアウォール) ソフトやネットワークカードのユーティリティソフトがインストールされていると、プロジェクターと接続できない場合があります。

■ 有線 LAN の場合

チェック 有線 LAN の設定

- 有線 LAN が有効になっていますか。

ソフトウェアのインストール

必要なシステム構成

付属のソフトウェアを使用するには下記の条件を満たすコンピューターが必要です。

OS: Mac OS X v10.4
Mac OS X v10.5*

CPU: 800MHz以上のPowerPC G4、または1.8GHz以上のIntel Core プロセッサを搭載

メモリー: 256 MB以上(推奨512MB以上)

ハードディスクの空き容量: 60 MB以上

ハード条件: CDまたはDVDドライブ(ソフトウェアのインストール、取扱説明書の閲覧)
LAN 端子(10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)
802.11 b/g対応の内蔵無線LANアダプターが正常に動作すること。ただし、802.11 b/g対応の無線LANであっても、802.11 gでプロジェクターと接続できない場合があります。

WEB ブラウザ: Safari 2.0以上

上記の条件を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

※ Intel Core 2 Duo プロセッサ搭載のMacBook および MacBook Pro のみ。
最新の情報は、当社 Web サイトをご覧ください。
<http://panasonic.biz/projector/>

ソフトウェアのインストール (つづき)

付属の CD-ROM の内容

付属の CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブにセットしてください。

お知らせ

- 起動しているすべてのソフトを終了してください。インストールできなくなる場合があります。
- インストールするためには、[管理者 (Admin)] の権限が必要です。

Wireless Manager ME 4.5

無線 LAN または、有線 LAN で、コンピューターから画面をプロジェクターに送るために使用します。

1 コンピューターの CD/DVD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入する

2 CD/DVD-ROM ドライブ内の「WMmac4.5.dmg」をダブルクリックする

デスクトップに「WMmac」がマウントされます。

お知らせ

CD/DVD-ROM ディスク内に取扱説明書 (Index.pdf) があります。
ダブルクリックすると、取扱説明書 (PDF ファイル) をご覧になれます。

3 「Wireless Manager.pkg」をダブルクリックする

インストーラーが起動します。
画面の指示に従ってインストールしてください。

お知らせ

- 「名前」と「パスワード」を入力する画面が表示された場合、[管理者 (Admin)] の名前とパスワードを入力してください。
- Wireless Manager ME 4.5 は、「アプリケーション」 (./Applications) にインストールしてください。

無線 LAN で接続する

ワイヤレス簡単接続

詳細設定

コンピューターからプロジェクトターを選択して接続します。

1 インストール先、または Dock 内の をクリックする

● ネットワークアダプター選択画面が表示されたとき

- ① リストからアダプターを選択し、[OK] をクリックする
確認ダイアログ画面が表示された場合には、[はい] をクリックする
- ② アイコン、ユーザー名を設定し、[OK] をクリックする



お知らせ

- 接続方法について詳しくは、17 ページを参照してください。
- 「ネットワークアダプター選択」画面には、内蔵のアダプタのみ表示されます。

無線 LAN で接続する (つづき)

<接続先の選択>画面に、接続可能なプロジェクターが表示されます。



① ネットワーク

プロジェクターで設定されたネットワーク番号 (→ 29 ページ) を [1] [2] [3] [4] [U (ユーザー)] *1 から指定すると、そのネットワークの電源が入っているプロジェクターが [プロジェクター名] 欄に表示されます。コンピューター、プロジェクターともに初期値は [1] *2 です。※ 1 ~ 2 (→ 13 ページ)

② ID (→ 19 ページ)

プロジェクターの ID が表示されます。

③ モード (→ 22 ページ)

プロジェクターで設定されているモードやスタイルを表示します。

④ 使用可能なモード/機能

[ライブ] [マルチライブ] [ワンショット] の3つの機能のうち、使用できないモード/機能は [🚫] が重なって表示されます。

⑤ 接続人数

⑥ 接続状態

接続のパスワードが必要な場合は [🔒] が表示されます。(→ 18 ページ)

⑧ 接続メッセージ (→ 14 ページ)

接続できないとき、点滅します。クリックすると、問題を解決するための情報が表示されます。

⑨ 接続確認

[接続確認] をクリックすると、選択したプロジェクターの画面左上にプロジェクター名と ID を表示します。正しく表示できた場合、コンピューター画面に「接続可能です」と表示されます。

⑩ 指定 (→ 18 ページ)

①で [U] を選択すると、あらかじめ登録しておいたプロジェクターを選択できます。

⑪ ID 検索 (→ 19 ページ)


[ID 検索] をクリックすると、現在電源の入っているプロジェクターの中から、指定した ID を持つプロジェクターを [U] 以外の全ネットワーク番号から検索します。

無線 LAN で接続する (つづき)

2 [ネットワーク] で、接続するプロジェクターの [無線 LAN] メニューと同じネットワーク番号を選択する

ネットワーク内の電源が入っているプロジェクターが表示されます。

3 接続するプロジェクターを選択し、[OK] をクリックする

プロジェクターとの接続が確立されると、メニューバーに  が表示されます。
(「メニューの操作方法」→ 21 ページ)

お知らせ

- プロジェクターとコンピューターがワイヤレス簡単接続できない (→ 46 ページ)
- 自動接続設定 (→ 26 ページ)

※ 1

- 以下の場合、[U] 以外での接続はできません。
 - 「アプリケーション」の下にインストールしていない場合
- ご使用のコンピューターや無線 LAN カードによっては、ワイヤレス簡単接続ができないことがあります。そのとき、<接続先の選択>画面の [ネットワーク] の設定は自動的に [U] に切り替わります。このときの接続方法については、いったん Wireless Manager ME 4.5 を終了させたうえで、15 ページをご覧ください。

※ 2

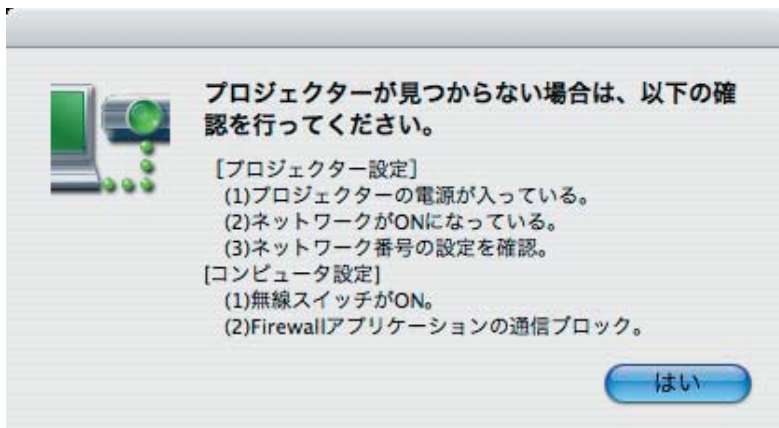
- プロジェクターと Wireless Manager ME 4.5 の初回起動時のネットワーク番号は共に [1] です。接続するためにはこの番号が一致している必要があります。プロジェクターのネットワーク番号を確認するには、プロジェクターのネットワークメニューを確認してください。
- ネットワーク番号 [1] は、WEP (無線通信の暗号化) *が設定されていませんが、ネットワーク番号 [2] ~ [4] は、WEP (無線通信の暗号化) が設定されていますので、セキュリティを重視される場合は、[2] ~ [4] を設定してください。
- 映像データは、[暗号化] を [無し] に設定した場合でも、あらかじめ全ネットワーク番号において AES *暗号処理が施されていますので重要なデータは保護されます。
- ワイヤレス簡単接続中は、他のネットワークアダプターが使用できないことがあります。
- ワイヤレス簡単接続中は、無線 LAN カードで接続している他のネットワークとの接続が解除されます。

※ 「用語解説」→ 45 ページ

無線 LAN で接続する (つづき)

接続エラーメッセージ

無線 LAN で接続できないとき、<接続先の選択>画面左下の [i] ボタンをクリックすると、以下のように問題を解決するための情報が表示されます。



無線 LAN で接続する (つづき)

アクセスポイント経由で接続する

インフラストラクチャーモード* (アクセスポイント*経由での接続) の設定ができます。ただし、ネットワークの設定はネットワーク管理者に確認してから行ってください。

※「用語解説」→ 44、45 ページ

① プロジェクターの設定

- 1 プロジェクターの電源をオンにし、リモコンの [ネットワーク] ボタンを押す
- 2 ネットワークメニューで、[無線 LAN] を [USER1] ~ [USER3] から選択し、[決定] ボタンを押す
- 3 ネットワークの詳細を設定し、[確定] を選択する
ネットワークの設定項目は 29 ~ 31 ページをご覧ください。
個々の設定内容はネットワーク管理者に確認してから行ってください。

お知らせ


プロジェクターの MAC アドレス*は、プロジェクター本体のネットワークメニューの [ステータス] で確認できます。
(「設定状態の確認」→ 34 ページ) ※「用語解説」→ 44 ページ

② コンピューターの設定

- 4 コンピューターの電源をオンにする
- 5 ネットワークの管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う

お知らせ

[管理者 (Admin)] の権限が無い場合、[管理者 (Admin)] の名前とパスワードが必要になります。

- 6 アクセスポイントに接続する
- 7 Wireless Manager ME 4.5 を起動し、[ネットワークアダプター選択] 画面の [無線 LAN] をクリックし、アクセスポイントに接続したネットワークアダプターを選択する
プロジェクターをネットワークに切り替えるかの確認画面が表示された場合は [いいえ] を選択してください。
- 8 <接続先の選択>画面で接続するプロジェクターを選択し、[OK] をクリックする
プロジェクターとの接続が確立されると、メニューバーに  が表示されます。
(「メニューの操作方法」→ 21 ページ)

お知らせ

プロジェクターが表示されていない場合は、[指定] → [追加] をクリックし、「接続先の登録」画面でプロジェクターに設定されている IP アドレスを入力して [登録] をクリックしてください。(→ 18 ページ)

お知らせ

「① プロジェクターの設定」を実行しても、アクセスポイント経由で無線 LAN 接続ができない場合は、お使いのアクセスポイント (電波中継機) のメーカーにお問い合わせください。

有線 LAN で接続する

有線 LAN での接続ができます。ただし、ネットワークの設定はネットワーク管理者に確認してから行ってください。

① プロジェクターの設定

- 1 プロジェクターの電源をオンにし、リモコンの [ネットワーク] ボタンを押す
- 2 ネットワークメニューで、[有線 LAN] を選択し、[決定] ボタンを押す
- 3 ネットワークの詳細を設定し、[確定] を選択する
ネットワークの設定項目は 28 ページをご覧ください。
個々の設定内容はネットワーク管理者に確認してから行ってください。

② コンピューターの設定

- 4 コンピューターの電源をオンにする
- 5 ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う

お知らせ

[管理者 (Admin)] の権限が無い場合、[管理者 (Admin)] の名前とパスワードが必要になります。

6 Wireless Manager ME 4.5 を起動する

- ネットワークアダプター選択画面が表示されたとき
 - ① [有線 LAN] をクリックする
 - ② リストからアダプターを選択し、[OK] をクリックする



- 7 <接続先の選択>画面で接続するプロジェクターを選択し、[OK] をクリックする
プロジェクターとの接続が確立されると、メニューバーに [] が表示されます。
(「メニューの操作方法」→ 21 ページ)

お知らせ

プロジェクターが表示されていない場合は、[指定] → [追加] をクリックし、「接続先の登録」画面でプロジェクターに設定されている IP アドレスを入力して [登録] をクリックしてください (→ 18 ページ)

接続方法の選び方

「ネットワークアダプター選択」画面が表示された場合、[無線 LAN]、または [有線 LAN] を選んで [OK] をクリックしてください。

[無線 LAN] …無線 LAN を使用して接続します。

[有線 LAN] …有線 LAN を使用して接続します。

<接続先の選択>画面 (→ 12 ページ) が表示されます。

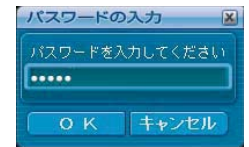
使用できるネットワーク番号は [U (ユーザー)] のみです。



接続のその他の操作

接続時にパスワードが必要なときの操作

[🔒]マークのあるプロジェクターを選択した場合は、右の画面が表示されます。パスワードを入力し[OK]をクリックしてください。(→ 32 ページ)



お知らせ

- パスワード入力画面で [キャンセル] をクリックすると、メニューバーに [🔒] が表示されます。(→ 21 ページ) ただし、接続はされません。
- 誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。
[OK] をクリックしてパスワード入力画面に戻り正しく再入力してください。

接続先の追加と削除

<接続先の選択>画面の [ネットワーク] が [U] で、接続したいプロジェクターが表示されないときは、下記の操作で接続先の追加削除を行います。

■ 接続先の追加

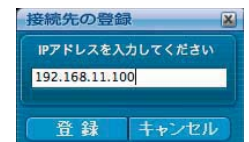
- 1 <接続先の選択>画面で [指定] をクリックする
右の画面が表示されます。



- 2 [追加] をクリックし、追加したい接続先の IP アドレス* (ピリオドも含む) を入力して [登録] をクリックする

* 「用語解説」 → 44 ページ

手順 1 の画面の接続先リストに今登録した接続先が追加されます。



■ 接続先の削除

上記手順 1 の画面で削除したい接続先を選択して [削除] をクリックしてください。

接続のその他の操作 (つづき)

接続先を ID で検索する

同名のプロジェクターが 2 台以上あるときでも識別できるように、プロジェクターに ID ([Proj] + 4 桁の数字) が割り当てられています。

[ID 検索] をクリックすると、現在電源の入っているプロジェクターの中から、指定した ID を持つプロジェクターを [U] 以外の全ネットワーク番号から検索します。

ID は事前に知っておく必要があります。プロジェクターで入力選択を [ネットワーク] に切り替えたときに、投写画面の右上に約 5 秒間 ID が表示されます。または、あらかじめ<接続先の選択> - [詳細] 画面の [ID] 欄に表示される ID を記録しておくと、次回からは接続先を ID で検索することができます。

1 メニューの [接続先の選択 ...] をクリックする

<接続先の選択>画面が表示されます。

お知らせ

メニューの表示方法については、21 ページを参照してください。



2 [ID 検索] をクリックする

「プロジェクターの検索」画面が表示されます。



3 検索したいプロジェクターの ID (数字 4 桁) を入力し、[検索] をクリックする

検索を開始します。

4 該当する ID のプロジェクターが見つかったら、そのプロジェクターに接続され、メニューバーのステータス表示が緑色になります

該当する ID が見つからなかった場合、エラーメッセージが表示されます。

接続のその他の操作（つづき）

接続を解除する

1 メニューバーの [] をクリックし、「終了」をクリックする

下の画面が表示されます。




2 [はい] をクリックする

終了時にコンピューターのネットワーク設定が元に戻ります。
ただし、元のネットワーク設定に戻るまで時間を要することがあります。
[いいえ] をクリックすると、メニューバーに戻ります。

いろいろな投写方法

メニューの操作方法






メニューから各種操作を行います。

- メニューバーの [] をクリックするとメニューが表示されます。




■ ステータス表示

ステータス：接続状態を表示します。

-  (緑色点灯)：送信可能
-  (青色点灯)：自分が送信中 (ライブモードのとき)
-  (黄色点灯)：他のユーザーが送信中
-  (赤色点灯)：通信不可能
-  (黒色点灯)：プロジェクターが選択されていないとき

■ メニュー

 ライブモード FW100	22 ページ
シャッター	23 ページ
WEB制御	36 ページ
接続先の選択...	12 ページ
オプション...	24 ページ
Wireless Manager について	26 ページ
終了	20 ページ

いろいろな投写方法（つづき）

ライブモード

1 台のプロジェクターに 1 台のコンピューターを接続し、投写画面全体に表示します。

1 メニューバーのステータス表示で送信可能（緑色点灯）であることを確認する

2 メニューの [ライブモード] をクリックする

現在のコンピューター画面が選択されているプロジェクターに送信されます。ライブモードは 1 台のコンピューターでプロジェクターを占有しますので、他のコンピューターからは操作できません。

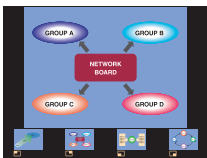
メニューの [オプション...] をクリックすると、<オプション>画面で画質や投写のオプション機能を設定することができます。

お知らせ

- ライブモードでのプレゼンテーションは、リモコンの [ページ ▲▼] ボタンがコンピューターの Page Up/Page Down キーと同等の働きをします。Page Up/Page Down キーをサポートしているコンピューターのアプリケーションが動作していればリモコンでプレゼンテーションの画面変更を行うことが可能となります。
- 投写中に通信異常が発生した場合、「ライブモードが解除されました」というメッセージが表示されますので、メニューから再度ライブを開始してください。
- 本体の [ライブモード割り込み] を [オン] にしておくと、他のコンピューターが割りこんでライブモードで投写することができます。（→ 33 ページ）

■プロジェクターを Windows パソコンと共有してご使用の場合のご注意

プロジェクターを選択後、プロジェクターの投射画面が下記のようなインデックススタイルの場合は、「ライブモード」の実行はできません。



その場合、リモコンの [マルチライブ] ボタンで、インデックススタイルを解除してください。

■ライブモードを終了するには

再度メニューの [ライブモード] をクリックしてください。

便利な機能

シャッター機能

プロジェクター画面を一時的に消します。

1 メニューの [シャッター] をクリックする

プロジェクター画面が一時的に消えます。

2 再度メニューの [シャッター] をクリックする

プロジェクター画面が再度表示されます。

お知らせ

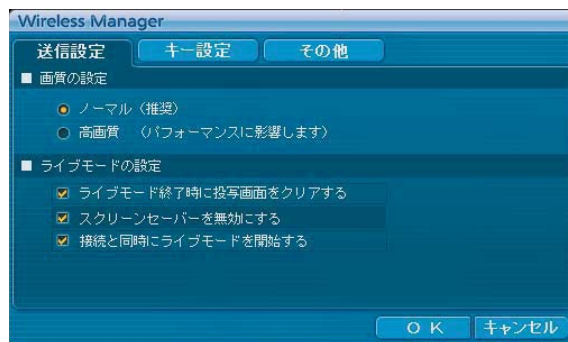
シャッター機能はライブモード時に動作します。

オプションを設定する

Wireless Manager ME 4.5 使用時の投写画面の設定を行います。

オプション画面の設定

- 1 メニューの [オプション ...] をクリックする
右の<オプション>画面が表示されます。
- 2 変更したい設定のタブを選択し、詳細を設定する
- 3 [OK] をクリックする



送信設定

■ 画質の設定

コンピューターからプロジェクターに送信する画質を選択します。

■ ライブモードの設定

- [ライブモード終了時に投写画面をクリアする]
ライブモード終了時にプロジェクターからの投写画面をクリアしたいときに設定します。
- [スクリーンセーバーを無効にする]
Wireless Manager ME 4.5 起動中はコンピューターのスクリーンセーバー機能を無効にします。ライブモード中にスクリーンセーバーを動作させたくないときに設定します。
- [接続と同時にライブモードを開始する]
接続されるとライブボタンをクリックしなくても投写されます。

お知らせ

初期設定は [スクリーンセーバーを無効にする] が有効になっています。パスワード付きのスクリーンセーバーが無効になりますので、席を離れる場合には注意してください。

オプションを設定する (つづき)

キー設定

コンピュータのキーボード操作で Wireless Manager ME 4.5 の機能を制御するための設定をします。

- 1 ショートカットキーを設定するモードまたは機能を選択し、クリックする
- 2 [Cmd]、[Alt]、[Ctrl]、[Shift] の中から選びクリックする
- 3 手順 2 で設定したキーと組み合わせるアルファベットを、上のアルファベット欄から選び、クリックする
- 4 [設定] をクリックする
手順 2、3 で設定した組み合わせが、空欄に表示されます。
設定を変更する場合は [クリア] をクリックしてください。



オプションを設定する (つづき)

その他

■ 自動接続設定

コンピューターから自動的に接続するプロジェクターを設定します。



- [自動接続を行う] をチェックすると、Wireless Manager ME 4.5 起動時に<接続先の選択>画面は表示されず、自動接続先に登録されているプロジェクターが起動されていれば自動的に接続します。
- [設定] をクリックすると、「接続履歴」画面が表示され、自動接続するプロジェクターを選択できます。「接続履歴」画面には、最大 5 台まで、履歴の新しいプロジェクター順に表示されます。表示からプロジェクターを削除する場合、削除したいプロジェクターを選択し、[削除] → [OK] をクリックしてください。



- [プロファイル作成] をクリックすると、「保存」画面が表示されます。接続されているプロジェクター情報のプロファイルを作成します。作成したプロファイルを使って、自動接続ができます。この機能を「ワンクリック接続」と呼びます。
 - ①プロファイルをダブルクリックする
 - ②プロファイルを [] にドラッグ&ドロップする
プロファイルを作成したときに接続されていたプロジェクターに接続されます。



バージョン情報

メニューの「Wireless Manager について」をクリックすると、Wireless Manager ME 4.5 のバージョン情報が表示されます。

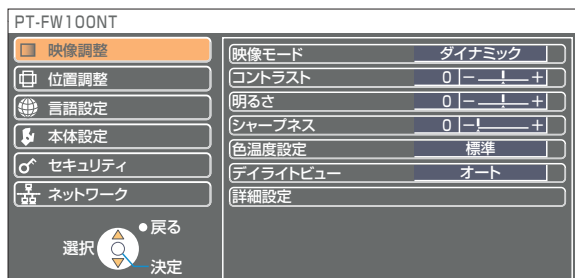
プロジェクターのネットワーク設定

お買い上げ時の設定を変更してプロジェクターとコンピューターを接続する場合、初期設定変更時に必要なメニューは次の手順で表示してください。

ネットワークメニューの表示

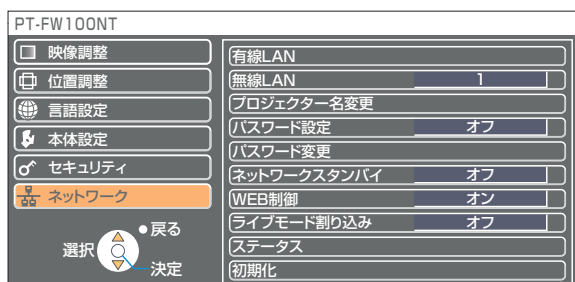
1 プロジェクターの [メニュー] ボタンを押す

メインメニューが表示されます。



2 [▲▼] ボタンで [ネットワーク] を選択する

ネットワークメニューが表示されます。



お知らせ

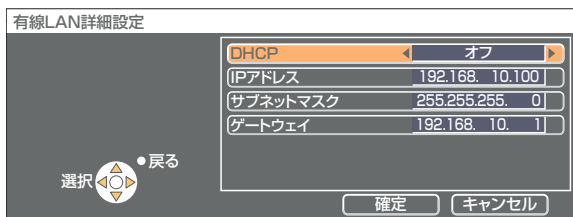
プロジェクターには入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニューの項目は表示されず、[決定] ボタンを押しても実行できません。

プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

有線 LAN の設定

有線 LAN の詳細なネットワーク設定ができます。

ネットワークメニューで、**[有線 LAN]** を選択し、**[決定]** をクリックする



DHCP* :

オン： プロジェクターを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、自動的に IP アドレスを取得します。

オフ： プロジェクターを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在しない場合、さらに **[IP アドレス*]** **[サブネットマスク*]** **[ゲートウェイ*]** の設定を行ってください。

※ 「用語解説」 → 44 ページ

お知らせ

有線 LAN と無線 LAN を同一セグメントでのご使用はできません。

有線 LAN の工場出荷設定

工場出荷時、有線 LAN にはあらかじめ下記の設定がされています。

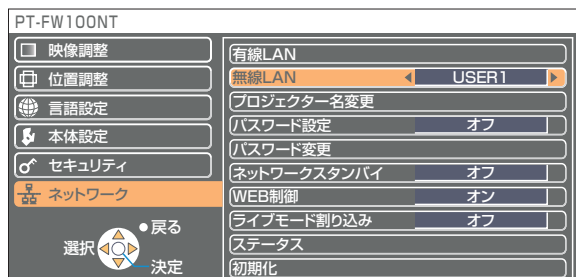
DHCP : オフ
IP アドレス : 192.168.10.100
サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 192.168.10.1

プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

ネットワーク番号を変更する

1 ネットワークメニューで [無線 LAN] を選択する

2 [◀▶] ボタンで接続する番号を選択する



お知らせ

[オフ] を選択すると、無線 LAN を無効にできます。

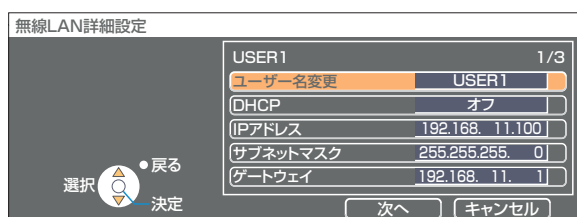
[USER] 設定

ネットワークメニューの [無線 LAN] で [USER1] ~ [USER3] を選択した場合には、詳細なネットワーク設定ができます。ネットワーク設定に関しては、ネットワーク管理者にご確認ください。

IP アドレス設定

■ IP アドレス設定画面の表示方法

ネットワークメニューで、[無線 LAN] → [USER1] ~ [USER3] → [決定]



DHCP* :

- オン： プロジェクターを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、自動的に IP アドレスを取得します。
- オフ： プロジェクターを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在しない場合、さらに [IP アドレス*] [サブネットマスク*] [ゲートウェイ*] の設定を行ってください。

※ 「用語解説」 → 44 ページ

お知らせ

有線 LAN と無線 LAN を同一セグメントでのご使用はできません。

プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

無線設定

IP アドレス設定画面の [次へ] を選択すると、無線設定画面に変わります。
プロジェクターとネットワーク間の無線に関する設定を行います。

- SSID * :モードが [INFRASTRUCTURE*] の場合、アクセスポイントに登録されている SSID を入力してください。モードが [AD HOC] の場合、接続するコンピューターに登録している SSID と同じ文字列を入力してください。

お知らせ

SSID は、半角英数で入力してください。

- モード : [AD HOC] か [INFRASTRUCTURE] かを選択します。
AD HOC * :アクセスポイントを使わず直接コンピューターと接続する
INFRASTRUCTURE * :アクセスポイント経由で接続する
- 認証 :接続するネットワークで使用されているユーザー認証方式を設定
オープン : [AD HOC] で接続する場合、もしくはアクセスポイントの認証方式が OpenSystem* の場合に選択
共有 : [AD HOC] で接続する場合、もしくはアクセスポイントの認証方式が Shared Key* の場合選択
WPA-PSK * :アクセスポイントの認証方式が WPA-PSK の場合に選択
- 暗号化 :プロジェクターとネットワークの間の通信で使用される暗号化方式を選択します。
無し :暗号化しない場合に選択。[認証] が [オープン] もしくは [共有] の場合に選択できます。
WEP * :暗号化方式に WEP を使用する場合に選択。
TKIP * :暗号化方式に TKIP を使用する場合に選択。
[認証] が [WPA-PSK] の場合に選択できます。
AES * :暗号化方式に AES を使用する場合に選択。
[認証] が [WPA-PSK] の場合に選択できます。

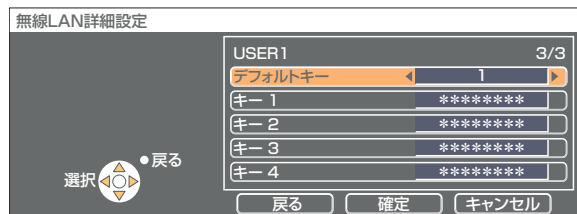
※ 「用語解説」 → 45 ページ

お知らせ

- 「①プロジェクターの設定 (→ 15 ページ)」を実行しても、アクセスポイント経由で無線 LAN 接続ができない場合は、お使いのアクセスポイント (電波中継機) のメーカーにお問い合わせください。
- WPA2、IEEE802.1x には対応していません。

プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

なお、[認証] の設定により、さらに以下の設定を行います。



- 認証方法が [オープン] または [共有] で、暗号化方式に [WEP*] を設定している場合：
デフォルトキー：デフォルトのキーとして使用する番号を選択
キー 1～4：[デフォルトキー] で選択したキー番号に WEP キーを設定して [確定] で実行
設定できるのは、64bit もしくは 128bit の WEP キーです。64bit の場合は半角英数字で 5 文字 (16 進数の場合は 10 桁)、128bit の場合は、半角英数字で 13 文字 (16 進数の場合は、26 桁) を入力します。
- 認証方法が [WPA-PSK*] の場合：キーを設定し [確定] で実行
8～63 文字の英数字か、もしくは 64 桁の 16 進数で入力します。

※「用語解説」→ 45 ページ

お知らせ

映像/音声データは、[暗号化] を [無し] に設定した場合でも、あらかじめ全ネットワーク番号において AES*暗号処理が施されていますので重要なデータは保護されます。

※「用語解説」→ 45 ページ

[USER1] ～ [USER3] の工場出荷設定

工場出荷時、無線 LAN の [USER1] ～ [USER3] にはあらかじめ下記の設定がされています。

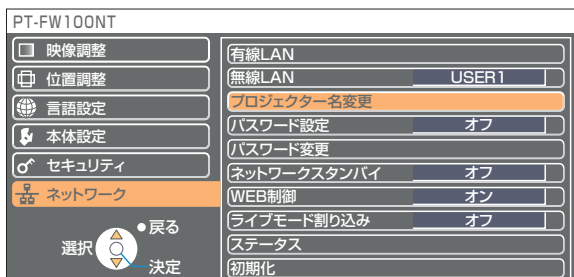
SSID	: Panasonic Projector
DHCP	: オフ
IP アドレス	: 192.168.11.100
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 192.168.11.1
モード	: AD HOC
認証	: オープン
暗号化	: 無し

プロジェクトターのネットワーク設定 (つづき)

プロジェクトター名を変更する

ネットワーク上でのプロジェクトターの名前を変更することができます。
<接続先の選択>画面で見わけがつきやすくなります。

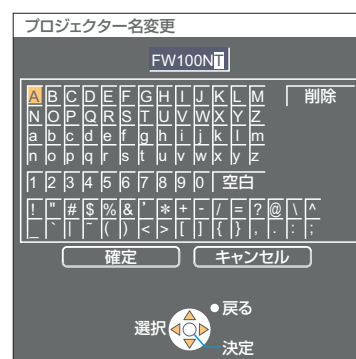
- 1 ネットワークメニューで【プロジェクトター名変更】を選択し、【決定】ボタンを押す



- 2 [◀▶▲▼決定] ボタンでプロジェクトター名を入力する

- 3 プロジェクトター名入力後【確定】を選択して【決定】ボタンを押す

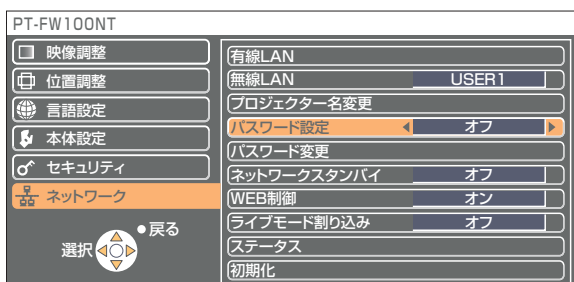
変更をキャンセルする場合は、【キャンセル】 → 【決定】 を押してください。



パスワードの設定

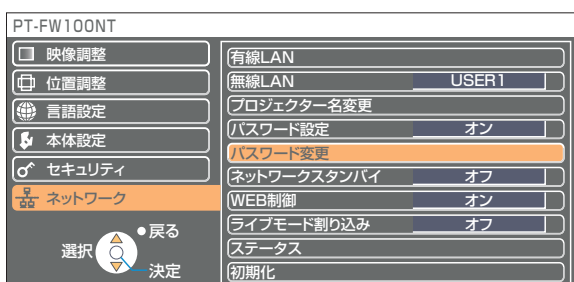
プロジェクトターに接続するためのパスワードを設定し、ユーザーに制限を加える場合に使用します。

- 1 ネットワークメニューで【パスワード設定】を選択する



- 2 [◀▶] ボタンで、【オン】を選択する

- 3 ネットワークメニューで【パスワード変更】を選択し、【決定】ボタンを押す



プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

4 [◀▶▲▼決定] ボタンでパスワードを入力する

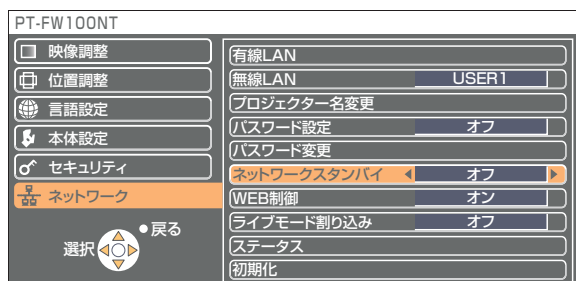
5 パスワード入力後 [確定] を選択して [決定] ボタンを押す
変更をキャンセルする場合は、[キャンセル] → [決定] を押してください。



ネットワークスタンバイ

本体がスタンバイ状態でもコンピューターと接続したままにすることができます。

1 ネットワークメニューで [ネットワークスタンバイ] を選択する

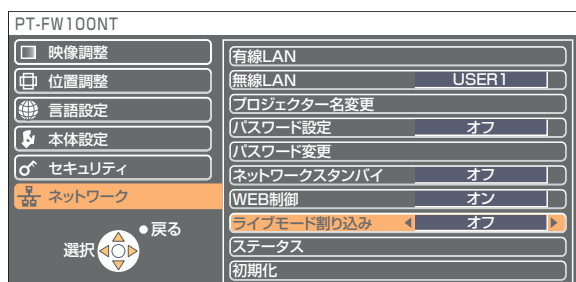


2 [◀▶] ボタンで、[オン] または [オフ] を選択します

ライブモード割り込み

ライブモード中に、他のコンピューターが割りこんでライブモードで投写することができます。

1 ネットワークメニューで [ライブモード割り込み] を選択する

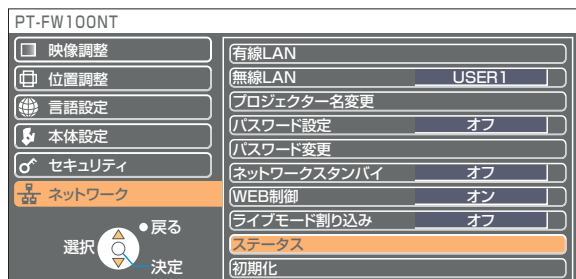


2 [◀▶] ボタンで、[オン] または [オフ] を選択します

プロジェクターのネットワーク設定 (つづき)

設定状態の確認

ネットワークメニューで [ステータス] を選択し、[決定] ボタンを押す
現在の設定状態が表示されます。



以下の状態について表示されます。

有線 LAN

DHCP	“オン” - “オフ”
IP アドレス	(→ 28 ページ)
サブネットマスク	(→ 28 ページ)
ゲートウェイ	(→ 28 ページ)
MAC アドレス	

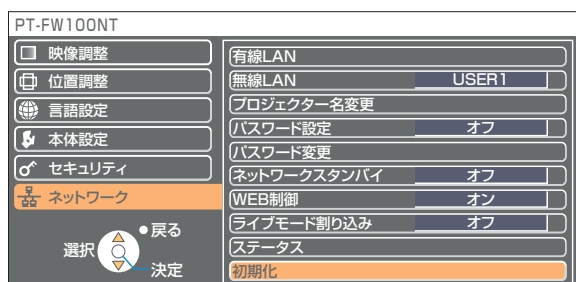
無線 LAN

アンテナレベル	(接続の強さが表示されます)
ネットワーク	“---”, “1” ~ “4”, “USER1” ~ “USER3”
モード	“AD-HOC” - “INFRASTRUCTURE”
チャンネル	使用できるチャンネルについては、5 ページを参照してください。
SSID	(→ 30 ページ)
認証	“オープン” - “共有” - “WPA-PSK”
デフォルトキー	“-” - “1” ~ “4”
暗号化	“無し” - “WEP” - “TKIP” - “AES”
DHCP	“オン” - “オフ”
IP アドレス	(→ 31 ページ)
サブネットマスク	(→ 31 ページ)
ゲートウェイ	(→ 31 ページ)
MAC アドレス	

初期設定に戻す

変更した設定を初期化することができます。

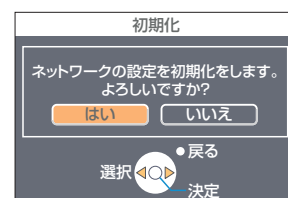
1 ネットワークメニューで [初期化] を選択し、[決定] ボタンを押す



お知らせ

[♂セキュリティ] メニューで [パスワード設定] が [オン] になっているときは、パスワードが要求されます。

2 [◀▶] ボタンで [はい] を選択し、[決定] ボタンを押す



WEB ブラウザで操作する

コンピューターの WEB ブラウザを使用して、プロジェクターをコントロールすることができます。このことを「WEB 制御」といいます。

(ここでは米国 Apple Inc. の「Safari」を例に説明しています。)

WEB ブラウザコントロールを行う前に

- プロジェクターとコンピューターを接続してください。(→ 11 ページ)

① プロジェクターの設定

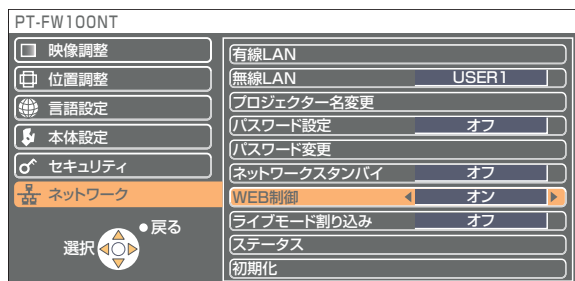
ネットワークメニューの [WEB 制御] を [オン] にします。

1 ネットワークメニューで [WEB 制御] を選択する

2 [◀▶] ボタンで [オン] または [オフ] を選択する

オン：WEB ブラウザでの制御を可能にします。

オフ：WEB ブラウザでの制御をできなくします。



お知らせ

- WEB ブラウザでプロジェクターの設定を変更した場合は、プロジェクターのネットワークを [USER1] ~ [USER3] に切り替えるまで有効にはなりません。
- [USER1] ~ [USER3] に切り替えたあとは、ご使用の WEB ブラウザのプロキシ設定を手動で解除してください。

② コンピューターの設定

■ プロキシサーバーの設定

WEB ブラウザでプロキシサーバーを設定している場合には、設定を解除してください。

1 「Safari」メニューの「環境設定 ...」をクリックする

「設定」画面が表示されます。

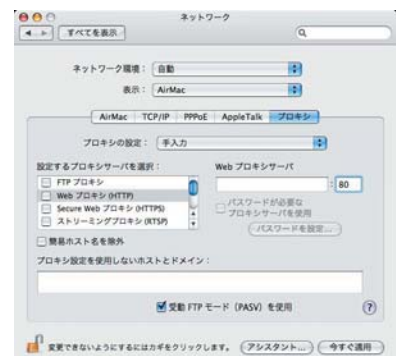
2 [詳細] タブの「プロキシ」の「設定を変更 ...」をクリックする

「プロキシ」をクリックし、プロキシサーバーを設定してください。

3 「web プロキシ」にチェックがあれば外す

「自動プロキシ」にチェックがあれば外す

4 [今すぐ適用] をクリックする



お知らせ

[管理者 (Admin)] の権限が無い場合、[管理者 (Admin)] の名前とパスワードが必要になります。

WEB ブラウザで操作する (つづき)

■ JavaScript を有効にする

JavaScript を無効にしている場合は、JavaScript を有効にしてください。

1 Safari の「セキュリティ」を表示する

2 「web コンテンツ」の「JavaScript を有効にする」にチェックを入れる

WEB ブラウザからアクセスする

1 メニューから「WEB 制御」を選ぶ

Web ブラウザが起動し、認証画面が表示されます。



<トップ画面>



2 ユーザー名とパスワードを入力する

3 [OK] をクリックする

「モニター情報」画面が表示されます。(→次ページ)

お知らせ

- 出荷時のユーザー名、パスワードの設定は、以下の通りです。
ユーザー名：user1
パスワード：無し
- このページで使用するパスワードは WEB 制御画面にアクセスするパスワードです。(→ 42 ページ) 32 ページで設定した、プロジェクターに接続するためのパスワードとは異なります。
- パスワードを 3 回続けて間違えると、数分間ロックされます。
- お買い上げ時、または初期設定に戻したあとでは、パスワードが設定されていません。適切なパスワードを設定してください。
- パスワードは、できるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パスワードを忘れてしまったときは、プロジェクターのネットワークメニューで [初期化] を実行し (→ 34 ページ)、WEB ブラウザの「パスワード変更」画面 (→ 42 ページ) で再度設定してください。
- 松下電器産業株式会社およびその関連会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- WEB ブラウザによってはトップ画面が表示されないことがあります。再度 WEB ブラウザを起動するか、[CMD] + [R] キーを押すなどして画面を更新してください。
- WEB ブラウザの起動には時間がかかる場合があります。

WEB ブラウザで操作する (つづき)

モニター情報画面

現在のプロジェクターの状態を表示します。

他のページから移行するときは、画面左側の【モニター情報】をクリックしてください。

■ モニター情報

画面の【モニター情報】タブをクリックしてください。



■ ネットワーク情報

画面の【ネットワーク情報】タブをクリックしてください。

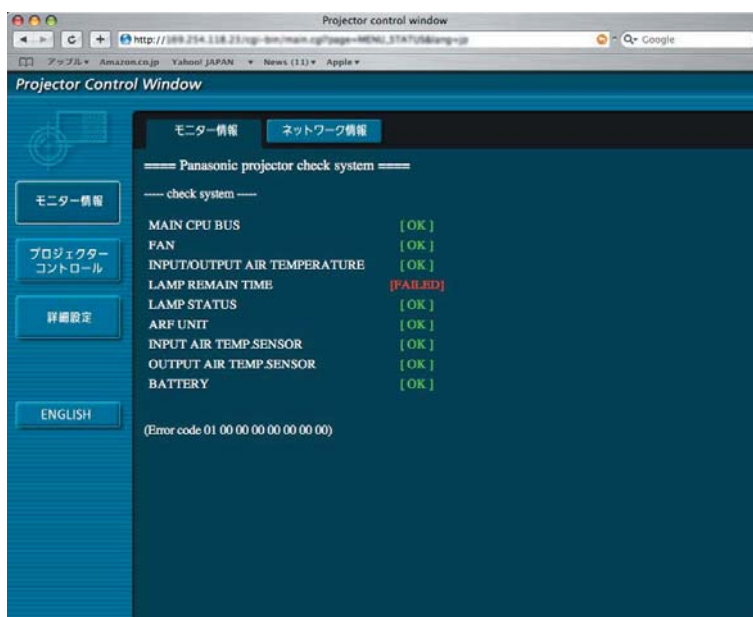


お知らせ

モニター情報は、一定の間隔で更新されますが、[表示] → [ページの再読み込み] を押しと、現在の正確な情報を確認することができます。

モニター情報画面で「自己診断 エラー (詳細)」が表示された場合、その部分をクリックするとエラー内容が表示されます。

自己診断 エラー (詳細表示)



■ [FAILED] と表示されたとき

項目	説明
MAIN CPU BUS	マイコン回路に異常があります。販売店にご相談ください。
FAN	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
INPUT/OUTPUT AIE TEMP.	吸気、または、ランプ周辺の温度が高くなっています。 ・ 暖房機器の近くなど、周辺温度の高い環境で使用している ・ 排気孔がふさがっている などの可能性があります。
LAMP REMAIN TIME	ランプ使用時間が所定の積算時間を越えており、ランプを交換する時期になっています。
LAMP STATUS	ランプ点灯に失敗しています。 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
ARF UNIT	ARFユニットが装着されていないか、フィルター残量が少なくなっています。 詳しくはプロジェクターの取扱説明書をご覧ください。
INPUT AIR TEMP.SENSOR	吸気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
OUTPUT AIR TEMP.SENSOR	排気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
BATTERY	電池交換が必要です。販売店にご相談ください。

WEB ブラウザで操作する (つづき)

プロジェクターコントロール画面

プロジェクターの各種設定を行うことができます。

他のページから移行するときは、画面左側の【プロジェクターコントロール】をクリックしてください。

■ 基本制御画面

画面の【基本制御】タブをクリックしてください。



■ 詳細制御画面

画面の【詳細制御】タブをクリックしてください。



お知らせ

電源オン直後は、プロジェクターと接続できない場合があります。そのときは少し待ってから、再度接続してください。

WEB ブラウザで操作する (つづき)

詳細設定画面

[管理者 (Admin)] の権限なしで接続する場合や、アクセスポイント経由 (インフラストラクチャーモード) で接続する場合に、プロジェクターに関するネットワークの詳細設定を行うことができます。

■ LAN 設定

1 メニューの [詳細設定] をクリックする

2 設定を変更したい項目にチェックを入れ、[NEXT] をクリックする

設定画面が表示され、現在の設定が表示されます。

- [CHANGE] をクリックすると LAN 設定の変更ができます。
 - [BACK] をクリックすると元の画面に戻ります。
- ここでの設定は、プロジェクターのネットワークメニューで、ネットワーク番号に [USER1] ~ [USER3] を選択して設定する内容と同じです。(→ 29 ページ)

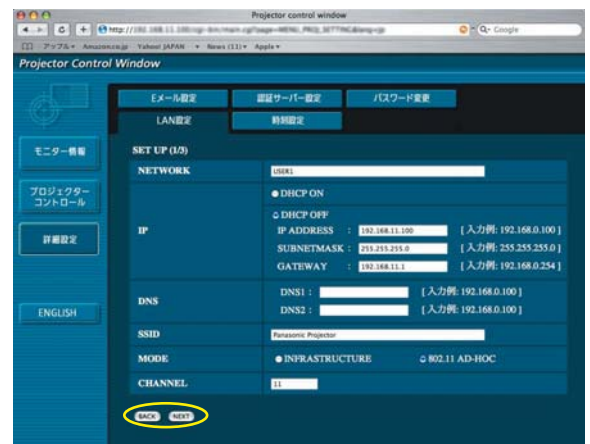
3 詳細を設定し、[NEXT] をクリックする

[NEXT] をクリックすると、次のページが表示され、詳細の設定ができます。

必要な項目の入力がすべて完了すると、入力内容の確認画面が表示されます。

4 [SUBMIT] をクリックする

設定した内容が登録されます。



■ 登録された内容を有効にするには

プロジェクターのネットワークメニューで [無線 LAN] を選択し、[◀ ▶] ボタンを使ってここで設定を登録したネットワークを選択してください。

お知らせ

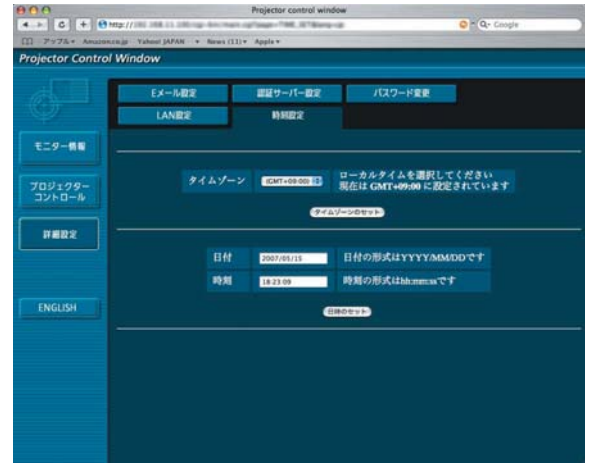
映像/音声データは、[暗号化] を [無し] に設定した場合でも、あらかじめ全ネットワーク番号において AES[®]暗号処理が施されていますので重要なデータは保護されます。 ※「用語解説」→ 45 ページ

WEB ブラウザで操作する (つづき)

■ 時刻設定

メニューの [詳細設定] → [時刻設定] をクリックする
タイムゾーン：タイムゾーンを選び、[タイムゾーンのセット] をクリックする。

時刻：「日付」と「時刻」を入力し、[日時のセット] をクリックする。

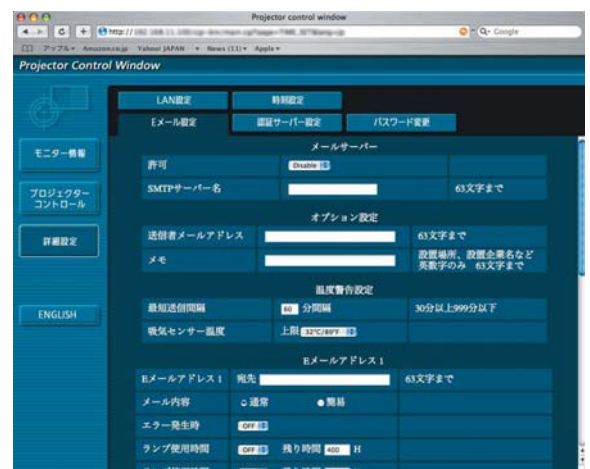


■ Eメール設定

Eメールを送信する相手は2つ設定できます。
メニューの [詳細設定] → [Eメール設定] をクリックする

- [メールサーバー]
許可 : メール送信の許可を切り替えます。
SMTP サーバー名 : SMTP サーバーの名前を入力します。
- [オプション設定]
送信者メールアドレス : 送信者のメールアドレスを入力します。
メモ : 送信者に関するメモを入力します。
- [温度警告設定]
最短送信間隔 : Eメールを送信する間隔を入力します。
吸気センサー温度 : 吸気センサー警告を送信する温度を選びます。
- [Eメールアドレス]
Eメールアドレス : 送信先のメールアドレスを入力します。
メール内容 : メールの種類を切り替えます。
携帯電話にメールを送信する場合、「簡易」を選びます。
エラー発生時 : ON を選ぶと、エラー発生時にEメールを送信します。
ランプ使用時間 : ON を選ぶと、「残り時間」を切った場合にEメールを送信します。
吸気センサー温度 : ON を選ぶと、[温度警告設定] で設定した温度を越えたときにEメールを送信します。
定期報告 : チェックが付いている曜日のその時間にプロジェクターの状況をメール送信します。

[SUBMIT] をクリックすると設定されます。



WEB ブラウザで操作する (つづき)

※送信されるメールの例

■「メール内容」で「通常」を選んでいるとき

① Eメール設定を行った場合

```
=== Panasonic projector report(CONFIGURE) ===
Projector Type      : F100NT

----- E-mail setup data -----
TEMPERATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME      at [ 30] minutes interval
INPUT AIR TEMPERATURE Over [ 32C / 89F ]

ERROR             [ ON ]
LAMP RUNTIME      [ ON ] at REMAIN [1000] H
LAMP RUNTIME      [ ON ] at REMAIN [ 999] H
INPUT AIR TEMPERATURE [ ON ]

PERIODIC REPORT
Sunday [ ON ] Monday [ ON ] Tuesday [ ON ] Wednesday [ ON ]
Thursday [ ON ] Friday [ ON ] Saturday [ ON ]

00:00 [ ON ] 01:00 [ ON ] 02:00 [ ON ] 03:00 [ ON ]
04:00 [ ON ] 05:00 [ ON ] 06:00 [ ON ] 07:00 [ ON ]
08:00 [ ON ] 09:00 [ ON ] 10:00 [ ON ] 11:00 [ ON ]
12:00 [ ON ] 13:00 [ ON ] 14:00 [ ON ] 15:00 [ ON ]
16:00 [ ON ] 17:00 [ ON ] 18:00 [ ON ] 19:00 [ ON ]
20:00 [ ON ] 21:00 [ ON ] 22:00 [ ON ] 23:00 [ ON ]

----- check system -----
MAIN CPU BUS [ OK ]
FAN [ OK ]
INPUT/OUTPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
LAMP REMAIN TIME [ OK ]
LAMP STATUS [ OK ]
ARF UNIT [ OK ]
INPUT AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
OUTPUT AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
BATTERY [ OK ]
(Error code 00 00 00 00 00 00 00)

Input air temperature : 27 degC / 80 degF
Output air temperature : 31 degC / 87 degF
SET RUNTIME 1054 H
LAMP ON 551 times
LAMP HIGH 2000 H
LAMP REMAIN 1000 H

----- Current status -----
MAIN VERSION 1.03
NETWORK VERSION 1.03A

----- Wired Network configuration -----
DHCP Client OFF
IP address 10.69.104.100
MAC address 00:12:34:56:78:9A

----- Wireless Network configuration -----
DHCP Client OFF
IP address 198.245.80.77
MAC address 00:0E:10:03:06:19

Thu Mar 26 16:31:26 2020

----- Memo -----
```

■「メール内容」で「簡易」を選んでいるとき

① Eメール設定を行った場合

```
Projector Type:
[F100NT]

--- E-mail setup data
-TEMP. WARNING SETUP
MINIMUM TIME :
at [ 30] minutes interval
INPUT AIR TEMP. :
Over [ 32C / 89F ]
-
ERROR [ ON ]
LAMP REMAIN [1000H]
LAMP REMAIN [ 999H]
INPUT TEMP. [ ON ]
-PERIODIC REPORT
Sun[ON] Mon[ON]
Tue[ON] Wed[ON]
Thu[ON] Fri[ON]
Sat[ON]
00:00[ON] 01:00[ON]
02:00[ON] 03:00[ON]
04:00[ON] 05:00[ON]
06:00[ON] 07:00[ON]
08:00[ON] 09:00[ON]
10:00[ON] 11:00[ON]
12:00[ON] 13:00[ON]
14:00[ON] 15:00[ON]
16:00[ON] 17:00[ON]
18:00[ON] 19:00[ON]
20:00[ON] 21:00[ON]
22:00[ON] 23:00[ON]

--- check system
FAN [ OK ]
LAMP [ OK ]
TEMP. [ OK ]
FILTER [ OK ]
OTHER [ OK ]
Error code :
00 00 00 00
00 00 00 00

--- Temperature
Input air:
27 C / 80 F
Output air:
30 C / 86 F

--- Lamp remain
LAMP 1000 H

----- Memo -----
```

② エラーになった場合

```
=== Panasonic projector report(ERROR) ===
Projector Type      : F100NT

----- check system -----
MAIN CPU BUS [ OK ]
FAN [ FAILED ]
FAN(EXHAUST) [ FAILED ]
INPUT/OUTPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
LAMP REMAIN TIME [ OK ]
LAMP STATUS [ OK ]
ARF UNIT [ OK ]
INPUT AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
OUTPUT AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
BATTERY [ OK ]
(Error code 40 00 00 00 00 01 00)

Input air temperature : 27 degC / 80 degF
Output air temperature : 33 degC / 91 degF
SET RUNTIME 1055 H
LAMP ON 553 times
LAMP HIGH 2000 H
LAMP REMAIN 1000 H

----- Current status -----
MAIN VERSION 1.03
NETWORK VERSION 1.03A

----- Wired Network configuration -----
DHCP Client OFF
IP address 10.69.104.100
MAC address 00:12:34:56:78:9A

----- Wireless Network configuration -----
DHCP Client OFF
IP address 198.245.80.77
MAC address 00:0E:10:03:06:19

Thu Mar 26 17:23:07 2020

----- Memo -----
```

② エラーになった場合

```
Projector Type:
[F100NT]

--- check system
FAN [ FAILED ]
LAMP [ OK ]
TEMP. [ OK ]
FILTER [ OK ]
OTHER [ OK ]
Error code :
40 00 00 00
00 00 01 00

--- Temperature
Input air:
27 C / 80 F
Output air:
26 C / 78 F

--- Lamp remain
LAMP 999 H

----- Memo -----
```

WEB ブラウザで操作する (つづき)

■ 認証サーバー設定

メニューの [詳細設定] → [認証サーバー設定] をクリックする
：認証方式を切り替えます。

SMTP 認証 : SMTP 認証の場合、使用する認証方式を切り替えます。

POP サーバー名 : POP サーバーの名前を入力します。

ユーザー名 : SMTP サーバーまたは、POP サーバーのユーザー名を入力します。

パスワード : SMTP サーバーまたは、POP サーバーのパスワードを入力します。

SMTP サーバー ポート番号 : SMTP サーバーのポート番号を入力します。

POP サーバー ポート番号 : POP サーバーのポート番号を入力します。



■ パスワード設定

メニューの [詳細設定] → [パスワード変更] をクリックする

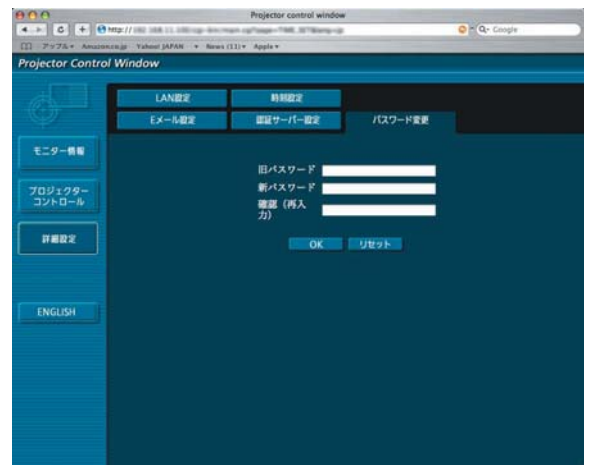
「Projector control window」画面にアクセスする際のパスワードを設定します。

旧パスワードと新パスワードを入力します。

「確認 (再入力)」欄に新パスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。


お知らせ

半角英数 (大文字/小文字)、記号を 16 文字まで入力できます。



ソフトウェアのアンインストール

Wireless Manager ME 4.5

- 1 「アプリケーション」の  をゴミ箱にドラッグドロップする
- 2 「Finder」メニューから「ゴミ箱を空にする ...」を選ぶ

用語解説

項目	用語	説明	ページ
一般的な 接続の 設定	LAN	Local Area Network の略。会社内など比較的狭い範囲のネットワークのことです。	8
	アクセスポイント	無線 LAN でコンピューターとネットワークを接続する電波中継機のことです。アクセスポイントに接続することで、アクセスポイントが接続されているネットワークにアクセスできるようになります。	15
	MAC アドレス	各ネットワークカードに固有の ID 番号。 全世界のネットワークカードには 1 枚 1 枚固有の番号が割り当てられており、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。 IEEE が管理・割り当てをしているメーカー毎に固有な番号と、メーカーが独自に各カードに割り当てる番号の組み合わせによって表される。	15
	IP アドレス	ネットワークでデータを配送する先にあたるアドレスのことです。IP (Internet Protocol) は、データを配送するためのプロトコルで、同一ネットワーク内で同じ IP アドレスを使用することはできません。	18/ 28/ 29
	DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。接続されている機器に自動的に IP アドレスを割り振る機能。DHCP サーバーの機能を持った機器が LAN 内にあれば接続されている機器に自動的に IP アドレスを割り振ります。	28/ 29
	サブネットマスク (Subnet Mask)	ネットワークでは、大きなネットワークをサブネットと呼ばれる複数の小さなネットワークに分割して管理する場合があります。その場合の IP アドレスを区切るための値のことをサブネットマスクといいます。	28/ 29
	ゲートウェイ (Gateway)	異種のネットワークを接続する中継点のことをいいます。使用しているネットワークの規格と異なったネットワークに接続する場合などに使われる機器のことです。双方のネットワーク間のプロトコルの違いなどを調整して、他のネットワークとの接続を可能にします。	28/ 29

用語解説 (つづき)

項目	用語	説明	ページ
高度な 接続の 設定	AD_HOC	アクセスポイントを介さずにコンピューターどうしが直接通信を行なうモードのことです。	30
	INFRASTRUCTURE (インフラストラク チャーモード)	アクセスポイントを経由して接続するモードのことです。	15/ 30
	SSID	Service Set ID の略。無線を利用する無線 LAN では、通信したいアクセスポイントであるかどうかを区別するために SSID と呼ばれる識別コードを設定する必要があります。 一部メーカーの無線 LAN カードによっては、[ESSID] や [ネットワーク名] などと表示されている場合もあります。	30
	Open System (オープンシステム) ／オープン	公開鍵暗号を用いた無線認証方式のひとつです。	30
	Shared Key (共有キー) ／ 共有	秘密鍵暗号を用いた無線認証方式のひとつで、WEP に設定した暗号キーを使って認証を行う方式です。 暗号化と復号化に同じ鍵を用いる暗号方式で「共有鍵暗号」「共通鍵暗号」とも呼ばれています。	30
	WPA-PSK	無線 LAN の暗号化方式の規格。WEP 方式よりセキュリティ強度が高く、ユーザ認証機能や、暗号キーを一定時間毎に自動的に変更する TKIP (暗号化プロトコル) などの機能を備えています。 また、この認証方式は、認証サーバーを必要としません。	30/ 31
	WEP	Wired Equivalent Privacy の略。通信するデータを暗号化する方式です。暗号キーを作成して通信する相手だけに知らせることで、第三者に通信データを解読されないようにします。	30/ 31
	TKIP	Temporal Key Integrity Protocol の略。暗号キーを一定時間ごとに変更するため、WEP よりもセキュリティ強度が高い暗号化プロトコルです。	30
	AES	米国商務省標準技術局 (NIST) によって選定作業が行われている、米国政府の次世代標準暗号化方式です。	13/ 30/ 31/ 39

困ったとき

もう一度次の点をお調べください。

プロジェクターとコンピューターが無線 LAN 接続できない
<ul style="list-style-type: none">• Wireless Manager ME 4.5 を起動していますか。 プロジェクターに無線 LAN で映像を送信するには、コンピューター側で Wireless Manager ME 4.5 を起動する必要があります。 <p>〈[管理者 (Admin)] の権限がないとき〉</p> <ul style="list-style-type: none">• [管理者 (Admin)] の権限が無い場合、[管理者 (Admin)] の名前とパスワードの入力が必要になります。 <p>〈ネットワークの設定エラー〉</p> <p>[U] で接続する場合、プロジェクターのネットワークメニューの設定が正しいか確認してください。(→ 29 ページ)</p>
ネットワークから切断される
<ul style="list-style-type: none">• スリープになりましたか。 スリープになり、ネットワークから切断された場合、Wireless Manager ME 4.5 を一度終了し、再度起動しなおしてください。• ワイヤレス簡単接続 (ネットワーク [1],[2][3][4]) を使用して接続を行い、Wireless Manager ME 4.5 を使用し、終了しましたか。 ワイヤレス簡単接続 (ネットワーク [1],[2][3][4]) を使用して接続を行い、Wireless Manager ME 4.5 を使用し、終了したときに、ネットワークから切断されることがあります。 再度、無線 LAN の設定を行ってください。
ワイヤレス簡単接続ができない。
<ul style="list-style-type: none">• 〈[無線 LAN] を選択したのに、接続先の検索で [1] ~ [4]、[U (ユーザー)] がクリックできない〉 Wireless Manager ME 4.5 は、「アプリケーション」にインストールされていますか。 ワイヤレス簡単接続を動作させるためには、Wireless Manager ME 4.5 を「アプリケーション」(./Applications) にインストールする必要があります。
プロジェクターが見つからない
<ul style="list-style-type: none">• ネットワーク設定を行ってから、Wireless Manager ME 4.5 を起動していますか。 インフラストラクチャーモード (アクセスポイント経由での接続)、または有線 LAN でプロジェクターへ接続する場合には、Wireless Manager ME 4.5 を起動する前にネットワーク設定を行ってください。 [管理者 (Admin)] の権限が無い場合、[管理者 (Admin)] の名前とパスワードが必要になります。
ディスプレイの明るさが下がらない
<ul style="list-style-type: none">• 「スクリーンセーバーを無効にする」にチェックマークが付いていませんか。 Wireless Manager ME 4.5 のオプション画面で、「スクリーンセーバーを無効にする」にチェックマークが付いている場合、内蔵ディスプレイの明る度は下がりにません。

困ったとき (つづき)

無線 LAN、または有線 LAN の接続がきれてしまう

ライブモードが解除となった場合や接続が切断された場合は、メニューから再度接続処理を行ってください。
それでも LAN 接続できない場合は、プロジェクターの電源を切り、ファンクーリングが終了した後（本体の電源モニターが橙色から赤色に変わった後）に電源を入れ、再度メニューから接続処理を行ってください。
(→ 11 ページ、または 16 ページ)

IEEE802.11g で接続できない

- IEEE802.11b、802.11g 対応の無線 LAN アダプターが混在するような環境では 802.11b で接続される場合があります。
- 使用環境（場所、電波状況、距離など）によっては 802.11b で接続される場合があります。
- 無線 LAN のアダプターによっては、“AD HOC” 接続では IEEE802.11b での接続しかサポートしていないものがあります。

転送速度が遅くなった

- 使用環境（場所、電波状況、距離など）によっては、遅くなる場合があります。
- コンピューターの無線 LAN アンテナの近くに、金属などの導電体を配置すると転送速度が遅くなる場合があります。
- WEP の設定を行うと、画像データを変換するため、転送時間がかかります。

画像表示やアニメーションの再生が遅い、スムーズでない

- コンピューター CPU の速度が遅くありませんか。(→ 9 ページ)
ライブモードはコンピューター CPU 性能に大きく依存します。
- 周囲で無線通信が行われている場合は影響を受ける場合があります。
- <オプション>画面の [画質の設定] で [高画質] を選択している場合 (→ 24 ページ) には、画面表示が遅くなる場合があります。
- 他のアプリケーションを同時に起動している場合、遅くなる場合があります。

困ったとき (つづき)

コンピューター操作と実際の投写映像にタイムラグがある
<ul style="list-style-type: none">• Wireless Manager ME 4.5 はコンピューターの画面を取り込んで圧縮してからプロジェクターに送信します。またプロジェクター側では受信したデータを解凍してから投写します。この処理時間と無線 LAN の環境によって遅延時間が発生します。ご使用のコンピューターの性能によっても遅延時間に差がでます。
Wireless Manager ME 4.5 の色表示が正しくなく、文字が読みづらい
<ul style="list-style-type: none">• 「システム環境設定」の「ディスプレイ」の「カラー」を確認してください。「約 32,000 色」以上に設定してください。「256 色」の場合は、ライブモードは実行できません。
インターネットをしながら 無線 LAN 接続を行いたい
<ul style="list-style-type: none">• インターネット接続が可能な無線 LAN 環境がある場合は、この無線 LAN にプロジェクターを組み込むことによりインターネット接続、無線 LAN 接続の併用が可能となります。(→ 15 ページ)• 有線 LAN でのインターネット接続環境がある場合は、有線 LAN でのインターネット接続、無線 LAN 接続の併用が可能です。
WEB 制御画面が表示されない
<ul style="list-style-type: none">• ご使用の WEB ブラウザのプロキシ設定を手動で解除してください。

商標について

- Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PowerPC は、IBM Corporation の商標です。
- Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。

ご注意

- 本製品のソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本製品のソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

パナソニックプロジェクターサポートセンター

ワイヤレスの設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら **0120-872601** 受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～12:00 13:00～17:00

URL: <http://panasonic.biz/projector/>

※書面や電話／FAX を使用しお答えする場合は、返事をさしあげのお時間を頂くこともございます。

※お電話頂く際には、番号をお確かめの上、お間違のないようお掛けください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 プロジェクタービジネスユニット

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© Panasonic Corporation 2008

M0707-3098